

# 事業予算の推移

(当初予算)

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
総額		52,525	62,199	43,753
報酬		1,196	1,196	102
報償費		1,457	716	669
旅費		635	479	397
需用費		15,791	11,369	12,025
需用費内訳	消耗品費	3,580	3,178	2,984
	燃料費	1,886	1,723	1,282
	食糧費	66	49	48
	印刷製本費	1,047	1,746	861
	光熱水費	4,020	3,981	4,087
	修繕費	5,192	692	2,763
役務費		836	863	765
役務費内訳	通信運搬費	760	731	731
	手数料	56	132	34
	筆耕翻訳料	20	0	0
委託料		5,388	5,403	5,420
使用料及び賃借料		5,946	5,859	6,347
工事請負費		5,000	20,000	0
備品購入費		16,204	16,237	16,200
負担金補助及び交付金		72	77	72

## 平成28年度 事業実施状況

### (1) 本館

事業名	対象	内容	時期	摘要
春のたねまきおはなし会	幼児・小学生	素語り・おはなし会	5月8日	参加者 107人
天神祭への協賛事業	一般	除籍本等のプレゼント	5月25日	
夏のおはなし会	幼児・小学生	おはなし会	8月 6・7日	参加者 96人
緑陰文庫	一般・子供	除籍本等のプレゼント	8月 10月	夏のおはなし会 秋の読書週間
手づくり絵本・紙芝居 コンクール	幼児・小学生 一般	親子・祖父母などで手づくり絵 本を楽しむ	8月募集 10月表彰	応募点数 絵本 55点、紙芝居8点
児童読書感想文 コンクール	小学生	読書週間記念事業	9月募集 10月表彰	応募点数 218点
児童読書感想画 コンクール	小学生	読書週間記念事業	10月募集 11月表彰	応募点数 275点
上野甚作賞短歌募集	一般 小・中・高生	上野甚作の功績を讃え短歌を 募集、優秀作品の顕彰	1月募集 3月表彰	一般 58首 小中高生 535首
山形小説家・ライター講座 鶴岡出張講座	一般	三浦しをん氏、池上冬樹氏に よる講演等	9月17日	参加者 150人
クリスマス絵本まつり	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ・紙芝居 絵本展示	12月10日 11日	参加者 138人
特別講演会	一般	山口 花氏による講演等	12月18日	参加者 52人
対面朗読ボランティア 派遣	福祉施設 入居者等	紙芝居・エッセイの朗読他	水・土曜日 各月1回	69回 参加者 1,211人
子どもおはなし会	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	毎週 水・土曜日	参加者 694人
おはなしボランティア 派遣	学校・地区	絵本の読み聞かせ・紙芝居 エプロンシアター他	6月～2月	参加者 607人
ボランティア養成講座	一般	講師 杉山 きく子氏 (東京子ども図書館理事) 内藤 直子氏 (東京子ども図書館)	10月 15・16日	参加者 64人
つちだよしはる氏 ワークショップ	幼児・小学生 保護者	リース作り	12月17日	親子 30組
つちだよしはる氏 原画展	一般・子供	こども室にて展示	2月21日 ～3月5日	

事業名	対象	内容	時期	摘要
学校図書館支援員の派遣	小学校 中学校	学校図書館の支援と連携	5月～3月	支援校21校 延べ回数63回
ブックスタート事業 (7ヶ月児検診時)	乳児と保護者	読み聞かせ おすすめ本の紹介	月2回	

## (2) 分館事業

事業名	対象	内容	時期	摘要
親子読書会 (藤島分館)	幼児小学生 保護者	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	年4回	参加者117人
館内読み聞かせ (藤島分館)	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	毎週 水曜日	
おはなしボランティア 派遣事業 (藤島分館)	幼児・小学生 保護者	おはなし会	年6回	参加者513人
おはなし会 (羽黒分館)	幼児・小学生 保護者	絵本の読み聞かせ 紙芝居他		羽黒分館移転の ため開催なし
おはなしひろば (榎引分館)	幼児・小学生 保護者	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	毎月第3 土曜日 年11回	参加者270人
昔話を楽しむ会 (榎引分館)	幼児・小学生 保護者	地域に古くから伝わる昔話の 紹介	年1回	参加者33人
ぬいぐるみお泊り会 (榎引分館)	幼児・小学生 保護者	ぬいぐるみの選んだ本の貸出	年1回	参加者11人
読み聞かせ会 (朝日分館)	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	毎月第2・4 土曜日 お話会 年22回	参加者89人
おはなし会 (温海分館)	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ 紙芝居他 ・七夕おはなし会 ・夏休みおはなし会 ・お月見おはなし会 ・クリスマスおはなし会	年5回	参加者124人
おはなしボランティア 派遣事業 (温海分館)	幼児・小学生 保護者	おはなし会	4月～3月	93回1,478人

## 体験学習・インターンシップ受入

No.	月 日	日 数	受入学校名	学年・人数
1	5月26～27日	2日	鶴岡第四中学校	3年・2人
2	7月5～7日	3日	鶴岡工業高等学校	2年・2人
3	7月27～29日	3日	鶴岡中央高等学校	2年・2人
4	9月13～14日	2日	鶴岡第二中学校	3年・3人
5	10月4～6日	3日	羽黒高等学校	2年・2人
6	10月19～21日	3日	鶴岡中央高等学校	1年・2人

## 図書館見学受入

No.	月 日	時 間	受入学校名	学年 (人数)
1	5月20日	13:20～	栄小学校	1.2年 (17人)
2	6月7日	9:30～	加茂小学校	1.2年 (10人)
3	6月14日	13:40～	京田小学校	1年 (17人)
4	6月15日	10:45～	湯野浜小学校	2年 (21人)
5	6月16日	11:00～	広瀬小学校	1年 (41人)
6	6月22日	9:40～	渡前小学校	3年 (31人)
7	6月24日	10:20～	朝暘第三小学校	2年 (6人)
8	6月28日	11:00～	西郷小学校	2年 (25人)
9	7月8日	13:45～	鶴岡中央高等学校	3年 (7人)
10	8月2日	13:15～	二本松市教育委員会	(8人)
11	10月4日	13:30～	としょかんTOMOみなみそうま	(15人)
12	10月13日	10:30～	朝暘第五小学校	2年 (57人)

※ (人数)は、児童と引率教員も含む

## 平成28年度 利用統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
人口(平成29.3.31現在)		132,313人	130,849人	129,323人
蔵書冊数(平成29.3.31現在)		371,101冊	377,661冊	382,433冊
登録者総数(平成29.3.31現在)		27,458人	29,933人	32,322人
新規登録者数		3,104人	2,475人	2,389人
開館日数		299～359日	299～360日	299～359日
BM運行日数		152日	152日	154日
入館者数		243,580人	252,200人	237,286人
貸出利用人数		106,797人	111,542人	104,613人
内訳	館内	97,672人	102,179人	95,393人
	BM	9,125人	9,363人	9,220人
貸出利用冊数		454,279冊	462,786冊	433,865冊
内訳	館内	407,454冊	414,429冊	384,203冊
	BM	33,797冊	27,265冊	25,110冊
	団体	13,028冊	21,092冊	24,552冊
1日当たりの入館者数		761人	788人	742人
1日当たりの貸出利用人数				
館内	貸出利用人数／開館日数	305.2人	319.3人	298.1人
BM	貸出利用人数／運行日数	60.0人	61.6人	59.9人
1日当たりの貸出利用冊数				
館内	貸出冊数(団体除)／開館日数	1,273.3冊	1,295.1冊	1,200.6冊
BM	貸出冊数／運行日数	222.3冊	179.4冊	163.1冊
1人1回当たりの貸出利用冊数				
館内	貸出冊数(団体除)／利用人数	4.2冊	4.1冊	4.0冊
BM	貸出冊数／利用人数	3.7冊	2.9冊	2.7冊
登録者の年間利用冊数		16.5冊	15.5冊	13.4冊
登録率 登録者累計／人口×100		20.8%	22.9%	25.0%
人口1人当たりの貸出冊数				
貸出利用冊数(団体・BM含む)／人口		3.4冊	3.5冊	3.4冊

※ 計算における開館日数は320日を使用

## 平成29年度 図書館（本館・分館）、郷土資料館重点施策

### 生涯学習社会に対応する図書館づくり

図書館は、市民の知る権利、学習する権利を保障するという基本的な役割を担うとともに、市民の学習ニーズが多様化・専門化する中で、生涯学習活動を支援する施設として益々その重要性が増してきています。

このような中で「鶴岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、これまで実施してきた事業の充実を図るとともに、読書活動の推進に係る機関・団体との連携を一層深めながら、読書環境の整備を図るとともに、誰もが利用しやすく、常に質の高いサービスを提供できる図書館づくりを目指します。

#### 1 鶴岡市子ども読書活動推進計画の推進

##### (1) 平成29年度実施事業（新）は新規事業

- ①中学校読書会の開催（新）
- ②PTA向け図書館支援事業の情報提供（新）
- ③読書活動推進グループの情報集約（新）
- ④ボランティアグループへの活動支援（新）
- ⑤保育園長会議等での図書館事業の適切な手法での紹介（継続）
- ⑥小学校図書主任会の開催（継続 11月開催）
- ⑦高等学校図書担当者との研修会、共同事業の実施（継続）
- ⑧学校が必要とする図書情報の事前収集に基づく団体貸出の強化（継続強化）
- ⑨関係課との連携強化によるPTA活動への支援（継続強化）
- ⑩養護学校への団体貸出の実施（新）
- ⑪読書アンケート結果による事業効果分析・結果の公表（新）
- ⑫読み聞かせ事業の推進（継続強化）

#### ※参考

（平成27年度実施事業）

- ①YAコーナーの設置
- ②団体等の活動把握とその情報共有、支援内容の検討
- ③一人ひとりのニーズに応じた図書情報の収集・図書の提供

（平成28年度実施事業）

- ①各団体が主催する講座、研修会への講師派遣等図書相談窓口としての図書館の紹介
- ②読み聞かせに適する本の情報提供
- ③保育園、幼稚園等での読書推進相談受付窓口としての図書館の紹介
- ④一人ひとりのニーズに応じた図書資料の貸出

- ⑤一人ひとりのニーズに応じた図書資料の継続購入
- ⑥図書館本館、分館での企画展示の実施
- ⑦保育園長会議等での図書館事業の紹介
- ⑧図書館HPの改善
- ⑨小学校、中学校、高等学校の学校図書館担当者との情報交換、共同事業の実施
- ⑩推進計画数値目標把握のためのアンケート調査の実施

## 2 図書館事業の充実

### (1) 市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実

- ①地域課題解決につながる資料の収集
- ②行政資料、郷土出身者の著書、郷土出版資料等の収集
- ③中高校生（ヤングアダルト）向け図書資料の充実
- ④DVD他視聴覚資料、大活字本、録音図書（CD）の充実
- ⑤郷土出身作家・絵本作家コーナーの充実

### (2) 市民の読書活動の推進及びボランティアの育成・支援

- ①館内おはなし会の開催、小学校等への読み聞かせボランティア派遣事業の実施
- ②乳幼児や児童、保護者に対する読書推進事業の実施（ブックスタート事業の啓発）
- ③読み聞かせボランティアの育成と活動支援
- ④対面朗読ボランティアの育成と活動支援
- ⑤大人向け読書活動推進講座の実施

### (3) 読書感想文、読書感想画、手作り絵本・紙芝居コンクール等の実施

### (4) 郷土への理解と地域文化の振興

- ①上野甚作賞短歌の募集及び表彰と歌集の発行

### (5) 自動車文庫「やまびこ号」の運行

- ①学校、コミセン等への定期運行
- ②各種イベント参加による移動図書館事業のPR

### (6) 学校図書館等への支援と連携

- ①学校図書支援員の派遣
- ②学級や読書サークル等への団体貸し出しの実施

### (7) 図書サービスの充実と施設環境の整備

- ①図書館システムによる図書サービスの充実
- ②受付窓口での図書資料の案内と参考相談の充実
- ③各種広報媒体等を活用した図書館の利用案内と図書館事業のPR
- ④他の図書館との相互協力
- ⑤良好な図書館施設環境の維持・保全

## 地域に根ざした郷土資料館づくり

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に庄内地方の歴史資料（古文書等）を取り扱う、東北で初めての「文書館」的な施設として鶴岡公園内に設立され、平成20年1月より市立図書館に併設となっています。資料館には、地元はもちろん、全国から調査・研究のための来訪者も多く、当地方の歴史研究の拠点として大きな役割を果たしています。

今後も、現有史料の整理を進めるとともに、市民の方々等が保管している史料の調査を継続実施する中で、貴重な資料が散逸・滅失しないよう情報収集に努め、利用者への便宜を図ります。また、古文書等の整理を進めるため、ボランティアの育成を継続し、市民の方々と連携しながら、地域に根ざした資料館づくりに努めます。

平成28年度実績

所蔵資料数	約24万点
整理数	約18万点（75%）

- 1 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用
  - (1) 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
  - (2) 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
  - (3) 所蔵資料の整理促進を図るための市民ボランティアの育成支援
  - (4) 郷土資料散逸防止（現地保存）の啓発
  
- 2 地域の情報拠点としての事業の推進
  - (1) 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
  - (2) 館所蔵資料展等による市民への資料公開
  - (3) 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知と利用PR
  - (4) 歴史講座等を通じた新たな研究成果の提供
  
- 3 所蔵史料の利用促進
  - (1) 所蔵史料のデータベース化
  - (2) 所蔵資料の資料目録発行に向けた整理・調査の継続
  - (3) 所蔵資料のデジタル化
  - (4) 諸家文書目録（既発行分）の利用促進
  
- 4 郷土愛の育成と地域文化の振興
  - (1) 古文書解説及び郷土史関連の講座の開催
  - (2) 庄内歴史懇談会、温故の会等、郷土史関係団体への協力と連携